

REGENSBURG

レーゲンスブルク便り

文と写真：吉村美佳(レーゲンスブルク在住)

第5回配信 2015.

11

月号

朝日出版社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5 TEL:03-3239-0271

[URL] <http://www.asahipress.com>



ハロウィーン用のかぼちゃは、無人の畑で好みのものを選び、お金を払って持ち帰ることが出来る。ここでは一つ2ユーロ。

秋の収穫



大きな庭にあるりんごの木。古いこのお宅には、5本ものりんごの木と2本のマルメロの木がある。

ドイツの庭には果物の木が多い。せっかく植えるなら収穫がある木を、と考える人が多いのだろうか。秋に収穫されるものをいくつか挙げてみても、りんご、西洋梨、マルメロ (Quitten)、ヘーゼルナッツ、葡萄と、たくさん。

そんな秋の収穫は、家庭の主婦を忙しくさせる。ケーキを焼いたり、ジャムにしたり。

レーゲンスブルクにあるジュース製造会社 Nagler は、80年以上の歴史を持つ。近郊の契約果樹園から集

めたりんごでジュースを作っているのだが、一般家庭の木から落ちたりんごも買い取ってくれる。50キロのりんごを持参すれば、2年間有効の25リットルのジュース引換券をもらえる、というシステム。ジュースに成り立ての無殺菌状態をもらえば、ワインやシャンパン、りんご酢が自宅でも作ることが出来る。

また、殺菌されていない状態の新鮮なジュースを購入すると、お店で買うのとは別な、最高級のリングジュースを堪能できる。



これがマルメロ。リング型のマルメロと、洋梨型のマルメロがある。



ジュース醸造会社

凧揚げの季節

日本では、新年の風物詩となる凧揚げですが、ドイツでは秋が旬。今年も、レーゲンスブルクの北にあるトロメルハウザーホーエで、恒例の凧揚げ大会が行われました。

ここは高台になっていて、見渡す限り緑が広がり、民家はほんの数軒、食堂も一軒だけ。四方が開けているので、夏の夜は、西日の最後の光まで満喫できる場所として、人気のスポットでもあります。

車がやっと1台通れるような細い道は、普段なかなか対向車に出会わないのに、この時とばかりに、たくさんの車が譲り合いながら走っています。親子で自転

車を走らせる人もいますが、その脇を遠慮がちに車が通り過ぎていきます。

この日は蚤の市も喫茶コーナーもあり、小学生以下の子連れ家族で大賑わい。肝心の凧揚げそのものは、指定時間内にそれぞれに楽しむ自己満足の世界。でも、普段慣れない凧揚げと格闘するだけで、なんだか楽しくなってしまう、そんな温かいアットホームなイベントです。



親子で思い思いに楽しむ凧揚げ

シリア難民

ドイツ各地で、200人前後の難民を6週間に渡って受け入れることが義務づけられている中、現在、千人以上の難民が、レーゲンスブルク郊外の28の地区に配置されています。

ここでは、一例として、北の郊外ラッパーズドルフに注目します。



ラッパーズドルフの体育館。ここで一人当たり6日間程度、難民が滞在。

当初から、市町村便りや教会のピラで、ボランティアや、冬物衣料、子供達の遊具などの寄付を求め、手際良く対応しています。

体育館を一時宿泊所として提供。約170人が、別の住居を確保するまで一人あたり約1週間滞在。警備担当者も配置され、冷蔵牽引車もあります。

普段この体育館を利用する、スポーツクラブ等は、場所や時間の制限を受けながら、譲り合っており、地元吹奏楽団は、難民のために近々小さなコンサートを開く予定。

共同生活中的難民は自由に外を歩くことが出来ません。体育館入り口の外に目隠しのつい立てがあるので、その入り口とつい立ての間の狭い空間で新鮮な空気を吸っているようです。子供達にはクラブ活動のように、外でサッカーが出来る時間もあるようです。気になるのは、おたふく風邪の患者がいるらしい、ということ…。

新興住宅街／ブルクヴァインティング Burgweinting

レーゲンスブルクから4km南東にある地区、ブルクヴァインティングは、良好な土壌に恵まれ、新石器時代、青銅器時代、古代ローマ時代に既に集落があった場所。20世紀初頭には、古代ローマ時代の頭蓋骨や陶器もたくさん見つかっています。

1970年代に、高速道路が開通し、80～90年代には、東芝、インフィニオン、オスラム、ジーマス、BMWなどの大企業が集まり、現在2万人もの職がここにあらのだそうです。



整然と家が並ぶ。

レーゲンスブルクは80年以降、この地区に住宅団地を計画し、幾度かにわたって土地を分譲した結果、大きな団地（人口9千人弱）となりました。屋根の高さや角度などが規定されており、整然とした、新しくきれいな街です。

ブルクヴァインティングの小学校は1学年5クラス、今年の新一年生だけでも124名、4学年で合わせて約455名と、レーゲンスブルクで最大の学校。2008年には、小学校の後に続く中等学校（5～10年生）も設立されています。



魅力的な公園がたくさんある。